

## 平成十九年新年の御挨拶

社団法人 日本空手協会

会長 中原 伸之

会員の皆様、新年明けましておめでとございます。旧年中はいろいろお世話になりありがとうございます。今年も相変わらずよろしくお願い申し上げます。

昨年を顧みましておおむね順調に推移しました。特に一昨年の12月、外務省・アジア大洋州局長より日豪友好協力条約30周年を記念して2006 YEAR OF EVENTの一環として

空手協会に協力を求めてきたのを受け、また船越義珍先生の50回忌の機会にその御遺徳を偲び、船越義珍杯第10回世界空手道選手権大会をオーストラリア・シドニー市で開催いたしました。

幸いに4大会連続の全種目完全制覇を達成しましたことは当協会の誇りとするところであります。

さて本年につきましては、理解を容易にするため以下のような箇条書きにまとめましたので熟読玩味下さい。



Nobuyuki Nakahara  
Chairman of The Japan Karate Association

終わりに、新年における会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

### 一．協会の理念の再確認

- (1) 真の空手道（伝統武道）の修練
- (2) 身を修め、家をととのえる（道場訓、松涛二十訓等）
- (3) 国を治め（総本部、都道府県本部、支部の運営等）、天下を平らかにする（いじめ問題等の社会貢献）

### 二．「いじめ」問題

- (1) 生命の尊さ 自殺をしてはいけない
- (2) 「いじめ」られない強い心身の育成
- (3) 「いじめ」はしない 「いじめ」を見たら助ける勇氣
- (4) 学校だけが、君らの世界じゃない。空手道場で多くの友達、仲間が作れる

- (5) 協会の全会員は「いじめ」問題について深く理解し、それぞれの立場からこの問題に真剣に取り組む
- (6) いじめ相談空手ホットラインの開設

TEL..03-5800-2100

### 三．全国大会名称変更

- 「冠」として全国大会の頭に内閣総理大臣杯、小・中学生全国大会の頭に文部科学大臣杯を加える。
- (1) 内閣総理大臣杯第50回全国空手道選手権大会
  - (2) 文部科学大臣杯第50回小学生・中学生全国空手道選手権大会
- 尚、少年大会に於いては、個人と団体に授与される。



平成18年度

第

6

回

# 熟練者 全国空手道選手権大会

●開催日時：平成18年11月11日(土)  
●開催場所：東京都・東京スポーツ文化館ふなび  
●主催：社団法人日本空手協会総本部  
●後援：産経新聞社、財団法人全日本空手道連盟



## 開 会 式

大会委員長、植木専務理事開会宣言

杉浦首席師範挨拶

中原会長挨拶

熟練者大会特有のルールで行われる団体戦、準決勝戦で東京都と前年度覇者の東京三多摩が対戦。東京都が三多摩を下し決勝に駒を進める。反対側からは茨城県と福岡県が準決勝で激突。福岡県が茨城県を下し福岡県が決勝で東京都との対戦が決まった。決勝戦、東京都が福岡県を圧倒し見事優勝に輝いた。

## 都道府県団体戦の部



三鋒、東京都・植井孝幸と福岡県・古賀慶三の対戦は植井が勝利

先鋒戦、東京都・石田賢司対福岡県・富永正宣の対戦は石田が勝利



第1回全国大会から50年ぶりに選手宣誓をされる高浦英児選手



都道府県団体戦を制した東京都のメンバー



四鋒、東京都・中澤悦子と福岡県・小西康子の対戦。形は平安初段



大将戦は東京都・千葉常昌と福岡県は市来徹夫の対戦。形は平安五段



# 個人戦形の部



女子55歳の部、優勝菱木ひろみの雲手



女子45歳形の部、優勝菊地たか子の珍手



女子35歳形の部、優勝秋山実和の五十四歩小



男子50歳の部、優勝の横須賀秀夫の二十四歩



男子45歳の部、優勝竹内一成の珍手



男子40歳形の部、優勝山崎力の抜塞小



55歳女子の部で出場し今大会の女子の部で最高年齢賞を受賞された久住選手。形は慈恩。



男子70歳の部、優勝高浦美児の観空大。今大会男子の部で最高年齢賞を受賞されました。



男子65歳形の部、優勝金井正成の五十四歩小



男子60歳の部、準優勝の折目哲也の雲手



男子60歳の部、優勝の瀬戸謙介の雲手

## 空手衣のヒロタ

**HIROTA**  
www.karatagi-hirota.co.jp



JKAラベル

金銀ラベル：  
特別仕立て空手衣、  
洋八、朱子帯用

赤銀ラベル：  
既製品空手衣、  
並黒帯、色帯用

JKAネクタイ

JKA関連商品 (この他にも多数あります)

JKA指定サポーター

JKAエナメルバッグ



確かな技術と迅速な対応で  
お客様に満足して頂ける  
空手衣をお届けします。  
特別仕立て組手用ピナック、  
型用 #163も好評発売中です！

東京本社

〒144-0052  
東京都大田区蒲田 5-33-6 NSビル 1F  
Tel:03-3730-5366/Fax:03-3730-5336  
e-mial: tokyo@karategi-hirota.co.jp

福岡支店

〒812-0018  
福岡県福岡市博多区住吉 4-2-15 住四ビル  
Tel:092-475-1810/Fax:092-475-1817  
e-mial: fukuoka@karategi-hirota.co.jp

愛知工場

〒445-0802  
愛知県西尾市米津町蓮台 16-3  
Tel:0563-54-3600/Fax:0563-54-5822



# 個人組手



45歳女子組手の部決勝戦、東京都・古川和代と茨城県・飯島明石の対決、始終積極的に仕掛け上段突きを極めた古川が勝利。45歳女子組手の優勝に輝き見事2連覇を達成した。



40歳女子組手の部決勝戦、京都府・西田美由紀と宮城県・新妻千枝の対戦。西田が気迫ある組手で新妻を下し40歳女子組手の優勝に輝いた。



女子35歳組手の部決勝戦、埼玉県・安藤陽子（埼玉）と兵庫県・岡崎ゆかりの対戦となった。両者積極的に仕掛け激しい展開になる。うまさみせた安藤が岡崎を下し35歳女子組手の優勝に輝き見事2連覇を達成した。



40歳男子組手の部決勝戦、青森県・加福明浩と静岡県・田中文晴の対決、静かな立ち上がりから一転、加福が足払いから突きを極め一本、勝負あり40歳男子組手の優勝に輝いた。



55歳女子決勝戦、根本真理子と澤田貞子の千葉県同士の対戦となった。前年度の優勝者の澤田は積極的に仕掛け連覇を狙う。澤田の圧力に根本は場外に追い込まれるが終始自分のペースを崩さず上段突きを的確に極めた根本が55歳女子組手の部の優勝に輝いた。



50歳女子組手の部決勝戦、東京都・橋本久美子と塚田きよ子が対戦した。塚田は積極できに仕掛けていくが、うまく出会いを合わせた橋本が50歳女子組手の優勝に輝いた。



55歳男子組手の部決勝戦、茨城県・塚田友義と長野県・中山廣重の対戦となった。塚田が延長戦の末に中山に勝利、優勝に輝いた。



50歳男子組手の部決勝戦、千葉県・小山孝一と埼玉・西村和弘の対戦となった。強豪ひしめく中ここまで勝ち上がった両者、西村が圧力かけ仕掛けていく、小山は終始自分の間合いを崩さず相手の攻撃を引き込み反撃にでる。両者の突きが同時に極まったかに見えたが小山の突きが一瞬早く極まり、小山が西村との接戦を制し50歳男子組手の部の頂点に輝いた。



45歳男子組手の部決勝戦、三多摩・竹内一成と兵庫・ウオーターハウスマークの対戦、延長戦にもつれる好試合。両者の激しい攻防が繰り返される。竹内が一瞬の隙をつき上段突きを決め接戦を制し、竹内は45歳男子の部で形と組手の完全優勝を成し遂げた。

## 空手衣に新しい波を ニューウェーブ

### 組手用空手衣

「無限」  
「NW-1」

### 形用空手衣

「NW-2」  
「NW-3」

スポンを立体的な新しい形の縫製にした為、足の動きがより自由になり、変幻自在の廣りに対応できる。  
上衣育中の汗取り用あて布を特殊縫製する事により、発汗時の空手衣のまとわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。  
-特許第3604677号-

## 守礼堂 本社

〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目1番6号  
TEL (098) 861-5621・FAX (098) 861-5525  
FreeDial 0120-612341・FreeFax 0120-612342

## 関西 守礼堂

〒536-0008 大阪市城東区関目2丁目12番36号  
TEL (06) 6931-8864・FAX (06) 6931-8863

## 守礼堂 東京支社

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目23番1号  
ニューグリーンビル1層103号  
TEL (03) 5342-3051・FAX (03) 5342-3052



# (株) 守礼堂





70歳男子組手の部静岡県・諸星保明は昨年優勝者の福岡県・桜場稔を破り、千葉県・高浦英児は東京都・西村弘道を破り決勝戦に挑む。決勝戦は激しい展開となった。高浦が蹴りを叩き込むと諸星が中段突きで応戦する。緊迫した試合は延長戦にもつれ込む。先取勝負の延長戦、諸星が一瞬の隙をつき上段突き極め技あり70歳男子組手の部優勝に輝いた。



65歳男子組手の部決勝戦、福岡県・神野勝と青森県・松井孝洋の対戦となった。本戦は両者ゆずらず延長戦にもつれる好試合となった。神野が勝負強さをみせ松井との接戦を制し優勝に輝いた。



60歳男子組手の部決勝戦、千葉県・澤田忠男と岐阜県・加藤巖の対戦となった。開始序盤、加藤が仕掛け強烈な上段突きが澤田の上段を捕らえるが、強打してしまい警告となる。澤田はダメージがあるかと思われたがここから澤田の猛攻が始まる。圧力をかけ積極的に仕掛けていく、突き蹴りをうまく使い分けの確に技を極めた澤田が60歳男子組手の優勝に輝いた。

**組手の部**

<b>男子 40才</b> 優勝 加福明浩(青森) 準優勝 田中文晴(静岡) 三位 成澤誠一(宮城) 白井剛(直轄)	<b>男子 45才</b> 優勝 竹内一成(東京三多摩) 準優勝 ウォーターハウ ス・マーク(兵庫) 三位 石田賢司(東京) 相原力(東京)	<b>男子 50才</b> 優勝 小山孝一(千葉) 準優勝 西村和宏(埼玉) 三位 富田勝(栃木) 新妻光夫(宮城)	<b>男子 55才</b> 優勝 塚田友義(茨城) 準優勝 中山廣重(長野) 三位 桐生公男(総本部) 野崎努(富山)	<b>男子 60才</b> 優勝 沢田忠男(千葉) 準優勝 加藤巖(岐阜) 三位 藤田正晴(兵庫) 矢口陽一(東京三多摩)	<b>男子 65才</b> 優勝 神野勝(福岡) 準優勝 松井孝洋(青森) 三位 大高正男(茨城) 川澄治男(茨城)	<b>男子 70才</b> 優勝 諸星保明(静岡) 準優勝 高浦英児(千葉) 三位 桜場稔(福岡) 西村弘道(東京)	<b>女子 35才</b> 優勝 安藤陽子(埼玉) 準優勝 岡崎ゆかり(兵庫) 三位 上野純子(兵庫)	<b>女子 40才</b> 優勝 西田美由紀(京都) 準優勝 新妻千枝(宮城) 三位 小林三姉(北海道) 山田かね子(岐阜)	<b>女子 45才</b> 優勝 古川和代(東京) 準優勝 飯島明石(茨城) 三位 野瀬美保子(岐阜) 馬場喜美子(岐阜)	<b>女子 50才</b> 優勝 橋本久美子(東京) 準優勝 塚田きよ子(茨城) 三位 河内辰子(福岡) 峯田友子(埼玉)	<b>女子 55才</b> 優勝 根本真理子(千葉) 準優勝 沢田貞子(千葉) 三位 橋本洋子(岐阜) 菱木ひろみ(直轄)	<b>男子 60才</b> 優勝 瀬戸謙介(東京) 準優勝 折日哲哉(東京三多摩) 三位 小沢英夫(東京三多摩)	<b>男子 65才</b> 優勝 金井正成(埼玉) 準優勝 神野勝(福岡) 三位 甲地伯史(静岡)	<b>男子 70才</b> 優勝 高浦英児(千葉) 準優勝 篠井浩(岡山) 三位 桜場稔(福岡)	<b>女子 35才</b> 優勝 秋山実和(新潟) 準優勝 安藤陽子(埼玉) 三位 岡崎ゆかり(兵庫)	<b>女子 40才</b> 優勝 紅林朋子(静岡) 準優勝 日橋美浦子(東京三多摩) 三位 井上みゆき(北海道)	<b>女子 45才</b> 優勝 菊地たか子(新潟) 準優勝 小西康子(福岡) 三位 飯島明石(茨城)	<b>女子 50才</b> 優勝 甘利千賀子(長野) 準優勝 若梅陽子(千葉) 三位 古田祐子(東京三多摩)	<b>女子 55才</b> 優勝 菱木ひろみ(直轄) 準優勝 渡邊まり子(英国) 三位 根本真理子(千葉)	<b>団体戦</b> 都道府(東京三多摩) 県対抗戦 優勝 東京都 準優勝 福岡県 三位 東京三多摩
--	---	--	---	---	--	--	--	--	---	---	---	---	--	---	--	---	--	---	--	--

# サンワで創ろう

printing of sanwa

- DTP・企画・デザイン・編集 (ポスター・パンフレット・書籍等)
- 建設CALS・CG・PDF・カード型CD-ROM制作
- イラスト・パース・トレース・パネル・ビデオ・スライド等制作
- 印刷 (単色少部数~4色オフセット大量印刷)・各種製本
- コピー・デジタルカラー・スキャニング・看板大型カラー出力

**SANWA** 株式会社 サンワ

Printing・DTP・IT

本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-8 TEL. 03-3265-1816 FAX. 03-3265-1847 URL: <http://www.sanwa-s.com>  
支店 〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 2-7-17 (佐藤ビル) TEL. 048-811-2010 FAX. 048-881-7177





# 「温古知新」——生涯学習としての空手道考察——

小山正二郎氏



生年月日 昭和10年12月4日  
 1657年 法政大学卒業 同空手部副将  
 1964年 日本空手協会海外指導員として渡米  
 日本空手協会米国西部地区支部設立  
 アリゾナ州及び隣接する西メキシコ国地域指導に従事現在に至る  
 1973年 アリゾナ州立大学 体育実技講師 空手指導  
 スカッチテール カレッジ 体育実技講師 空手指導  
 日本空手協会海外派遣指導員 八段 師範会 メンバー

試合競技は、功利的過酷な現代社会生活を勝ち抜く為の不可欠な闘争精神の養成にパーチャル体験として大きな意義があります。又現代競争社会の縮図とも言える勝つ事が最大の価値観である過酷なプロスポーツ試合を観戦し、その華麗な技や虫肩チームの勝利に一喜一憂、厳しい現代社会のストレスを解消する事も一つのスポーツの効用です。

且つ、オリンピックやプロスポーツは苛烈な戦いを展開することで何万という観衆に大きな感動を与え、それに魅惑された人々は、その果敢な行動や勇氣に自己を投射、精神を高揚させメンタルヘルス、ストレスの解消として明日への希望や喜びを享受できる素晴らしい要素もあります。

プロスポーツ選手には、努力さえすれば誰でもなれると云うものでなく、彼らは、優れた才能と血と汗の結晶が生んだエリート集団です。人々は、彼らに憧れ将来を夢見挑戦します。此処では一部の勝者と大多数の敗者に峻別されます。夢破れた者は、才能無き敗者の烙印を押され挫折と屈辱を味わいます。

自然界の法則は、厳しい環境に耐え種の持続的生存を促す淘汰と云うシステムが働いています。当然、スポーツ競技もこの法則が成り立ちます。

然し、自然界には、又淘汰と共生と云う原理も存在、スポーツも又敗者が存在するから覇者が生まれる共生の法則で成り立ちます。敗者が持つ劣勢を憐れみや労りて癒やす事で無く敗者の屈辱を糧として次なる挑戦を続ける断固たる決意と信念を評価し敗者なりの効用価値論を認識する潮流を喚起する事がスポーツに求められる懸案です。

## スポーツ競技以外の空手の効用について

勿論、スポーツ競技試合の訓練過程で徳育、情操、集団内のコミュニケーション等、人間教育としての大切な要素が育成されますが、これは飽くまで派生的、付属的要素で本質的要素ではありません。武道としての空手道は、生涯をかけて自身の魂を磨く人格

陶冶を本質的要素とするもので神道、仏教、儒教、老荘を根源とする武士道の教えの実践です。空手のスポーツ競技は、生涯空手道の鍛錬過程の中の一つの必修科目です。

## 空手道とは何か？

空手の沿革は、徒手空拳の護身術です。然し、現代社会の護身術とは暴力から身を守る事だけでなく、心の病、ストレス等のメンタルヘルスにも対処しなければなりません。引きこもり、いじめ、自殺等の防止対策として先ず、身体を動かす習慣をつける事だけでも大きな効用があります。勝ち負け、旨い下手を外視した身体を動かすだけの、血の循環を促進させる事で「快」ホルモンの分泌が旺盛になり生きる意欲が沸き起こります。徐徐に、只単のエクササイズとしてだけでなく、創造活動、心身鍛錬への確固たる目的意識を明確にし克己心、忍耐力、節義、廉恥の土壌の生成を空手の修練の中より学ぶ道程を空手道と言います。近代武道としての空手道は、生涯の護身術です。スポーツ競技は、試合に参加出来なくなれば引退し選手は日常、定期的に練習をしません。然し、生涯の護身術は、昆虫類などが成長するにつれて、古い皮をぬぎ捨て脱皮する様に又、四季の移り変わりの如く春は、基本の習得、夏にはスポーツ空手を謳歌し、秋には、夏期で培った競技空手の体験を実社会で活用し逞しく生き抜かねばなりません。又現代の冬期は、一昔前と異なり平均寿命が延び経済的にも肉体的にも老後は、厳しい道のりが横たわっています。生涯空手道の一つの学問として捉え季節ごとに成長を目指す人格陶冶の人間教育とすれば年をとるほど健康になり、年をとるほど成熟し、年をとるほどエネルギーがシユになります。

日々死生観の確立を目指して稽古に励めば老齡社会にも何らかの光明が見える事でしょう。生涯学習空手道修練を積み上げて肝要な事項として、第一、目先にとられないで、できるだけ長い目で観察する事。第二、一面にとられないで、できるだけ多



**SHOBU**  
 KARATE WEAR & GOODS

スーパーキャンパス SBC  
 日本空手協会試合用マット取扱店

初段から四段の段位証専用額新発売

http://www.karatedo.co.jp/shobu

TEL.0553-23-5320

E-mail:shobu@sage.ocn.ne.jp

FAX.0553-23-5340

〒405-0018 山梨県山梨市上神内川996-2 空手衣の尚武



面的、全面的に考察する事。第三、枝葉末節にとらわれないで、できるだけ根本的に観察する事。(安岡正篤 思考の三原則より)

この思考の三原則を生涯学習空手道修練に当てはめて見ると、第一、持続して稽古を継続すると言う信念の確立。第二、スポーツ空手競技の他に、ストレスの解消メンタルヘルス。呼吸法、座禅、瞑想、免疫性強化、社会性等の考察。

第三、枝葉末節にとらわれず、日々の弛まぬ研鑽による精神的向上を目指し、武士道精神、美意識、教養を備えた品格ある人格完成を終局の目的とする。

スポーツ競技空手は、既に世界中に普及されています。これに変わる日本文化の一環である。武士道精神を基底とした精神文化は普遍的価値の有るもので今世界がこれを求めています。改めて武士道精神を発掘し空手と言う心身の鍛錬を通じ、一人一人が逞しい心身を培う事が世界人類の発展に繋がる事と思います。

中国の哲人「宋 朱新中」は人生をより良く生きるための五計と言う事を教えています。  
生計、身計、家計、老計、死計の五計です。  
生計：生理の問題、病気をしたり、死んだりしない、すこやかにいきる道であります。  
身計：自分の一身をどういうふうにして世にたててゆくかという、社会生活であります。  
家計：家庭をどういうふうにして維持していくかという問題です。

老計：いかに年をとるか。「美しく死ぬのは、さほど難しくありません。」  
然し、美しく老いることは至難の業だ」  
アンドレ、ジツト

死計：はかばかおいても自然にときがくれば死ぬ、というのでなくどのように死ぬかの哲学が必要です。安岡正篤著「先哲講座」

この五計思想を生涯学習としての空手稽古過程に考察してみます。

生計……人間として成長する上で最も大切な事柄は、規律を厳しく身体に沁み込ませる事です。幼児期は、勝ち負けに基準を置かず規律を遵守する事を教え込むことが大切です。規律の無い子供たちや若者ほど手の負えないものはない。興味本位の格闘技的テクニクや映画の真似事、トロフィー獲得が空手で有るとする現代世相を先ず始めに親から改める事が肝要です。且つ指導者は基礎的足腰の鍛錬と単調な基本、型、組手稽古の汗の中より喜びを与え少しの進歩、向上をも褒め、繰り返し飽きさせずに稽古させる事が大切です。

又幼児の躾と教育として「道場訓」を日常生活に取り入れ家庭生活も又道場です。「礼儀を重んずる事」朝晩の挨拶、感謝の気持ちの表現「有り難う御座います」洗面、歯ブラシの使い方、規則正しい三度の食事摂食、睡眠、服装点検等を空手道の「級」昇級審査の採点課題に取り入れるべきです。

親は、家庭内の先生です。親の、この厳しい姿勢が不可欠です。

又基本稽古の繰り返しで「退屈に耐える精神を養う事」が幼児期に一番大切な事柄です。刺激を求めて大会を渡り歩き試合が本質的要素で稽古が付属的要素と云う事では本末転倒です。「一見したところ何でもやすやすと学べる」ということは子供にとっては破滅の原因となる」と言われていますが、この格言は疎かに出来ません。小規模な大会でチャンピオンになり周りが褒めそやし本人も有頂天になっている子供の将来を想像すると肌寒い思いがします。人は、愛よりも畏怖に対し強く反応します。この時期に、「敬する心」「恥」ずる心を「業」指導を通じて教える事が最も肝要な指導者の務めです。

身計……四季で言えば夏期です。春に学んだ基本を使い試合に参加、自己の能力を多数の人前で正しく表現しなければなりません。緊張した試合の場で自己の実力を表現出来れば、そこに感激、感

動、涙も生まれます。又快感ホルモン(エンドルフィン、ドーパミン)が分泌され「快」快感を味わえます。

スポーツ試合の効用について試合ではまず勝つことが最大の目標です。そのため全身、全脳、ホルモン系、無髄神経系、有髄神経系のすべてをフルに動員し、成果を競います。もちろん、前頭連合野は最大限に活動されます。このようなすべてを動員する西歐スポーツは頭の健康にももちろん有用です。(脳がここまでわかつてきた大木幸介) パスカルは「人間にその偉大さを示さないで、人間がいかに禽獣にひとしいかということばかり知らせるのは危険である。又人間にその不劣さを示さないで、その偉大さを知らせるのも危険である。人間に両面を示してやるのは非常に有益である。人間は自分を禽獣にひとしいと思ってもならないし天使にひとしいと思ってもならない。そのいずれかを知らずにしてもいけない。両方をもとに知らすべきである」と言っています。

試合は勝敗に執着しなければ勝利を手中に収めることは出来ません。剥き出しの闘争本能、嫉妬等を如何に抑制するかが最大の懸案です。勝敗への執着を捨て去り、全てを曝け出し無心の心境を目指す事で勝利を獲得できれば執着心が如何に危険かと言う事を学べます。勿論、覇者は素晴らしい選り抜かれた者ですが、全てをゲーム感覚で目先の勝敗に酔いしれるだけで無く勝利の要因から何かを学ぶべきです。敗者も又その屈辱から多くを学ばなければなりません。スポーツは「市場原理」と類似しています。金銭至上主義とトロフィー至上主義は同類で勝ち馬に乗れない者は切り捨てます。然し、正々堂々と闘いながら破れた者への憐愍の情とも言える思い遣り精神を尊敬する心掛けを闘争の試合で共に養うべきです。

家計……そろそろ、競技年令が幕を閉じる時期に入り、生涯学習としての空手道の今後の進路を思索しなければなりません。円満なる家庭、財政的安定、健康、子育て等が総ての基盤です。又宗教

国土交通大臣登録旅行業第361号/日本旅行業協会正会員

株式会社 **旅行開発センター**

代表取締役 小林 昇 (師範会会員)

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 友泉銀座ビル11階

ホームページ: <http://www.ctenet.co.jp>

TEL. 03-5159-1080 FAX. 03-5159-1090

担当: 三浦・福島 e-mail: [miura@ctenett.co.jp](mailto:miura@ctenett.co.jp)



の折りの如く生涯学習の空手道とは、稽古が我々の折りの時間です。「身計」で輝かしい業績を残した覇者なら、その過去の残影を何時までも引きずっている、そこで成長が止まってしまう。

速やかに、次のステップに挑戦しなければなりません。試合での体験を生かしたコーチング、後進を指導する事は、空手技術指導だけでなく対人関係且つ社会で人を指導する上でも貴重な自身の学習になります。日々の稽古は、遅しい身体を養成するだけで無く脳にはたいてい意欲、意志を強めます。又身体を鍛える事に寄ってストレスに耐え生きる「根性」を養い精神を強くして脳の健康によい影響をあたえます。「脳がここまでわかってきた。分子生理学による「心の解剖」大木幸介によれば、これまで免疫系ホルモンは小型タンパク質なので、脳の血液・脳関門を通過できず、脳の鍛錬や健康とは無関係だと思われてきた。しかし最近、脳幹の最下部にある延髄や視床下部では、神経系と免疫系ホルモンのやりとりをしているらしいのである。少なくとも一部の免疫系ホルモンは、脳内へはいれるらしい。つまり身体を鍛えて免疫系を強くすれば延髄や視床下部とおして、人間の脳の忍耐力や精神力をも強めることができるのだ。と述べられています。今迄の勝敗への飽くなき我欲を捨て去り霊的進化を目指す稽古に切り替え体内や精神に蓄積した汚物を型稽古により浄化する事が大切である。

老計：…先ず、老後は、人様の世話に成らない様に自助の心がけへの決断です。

子供の頃は、時間の経過が恰も牛歩の如き感でしたが、老齢に入りますと歳月は、将に激流の如く流れ去って行きます。先ず、確りした稽古スケジュールを作成しノルマとして実践していかないと何もしないで一日が無駄に過ぎ去って行きます。力を抜いた「型」稽古、足腰の鍛錬・ヨガ、ストレッチ、呼吸法をして、老計に

番大切な事は、「感激、感動」です。日課として道場に行き初心者の指導をする事によって感謝され喜ばれます。又哲学の構築人に尽くし、人に与れば、人また自分に尽くし、自分に与えてくれます。つまり、自分が生きるといふことは、人から生かされるということ。人を生かすことによって人から生かされる。安岡正篤 坤吟語より。

ベストセラー「国家の品格」藤原正彦によると「明治維新のころ海外留学した多くの下級武士の子弟たちは、外国人の尊敬を集めて帰って来た「武士道精神が品格を与えていたのである」と記されています。競技試合、ゲーム娯楽感覚での空手は、既に、世界津津浦浦に普及しております。日本精神である。誠実、慈愛、惻隠、忍耐、名誉、孝行、公の精神などを重んじる武士道精神の一環である空手道は、普遍価値のあるもので世界に誇るべきものです。この素晴らしい哲理を老計の最後の奉公として社会に還元しなければなりません。自分の生命と他人の生命の役に立ちたい。自分の幸せと人の幸せに役立つ。自分の出来る範囲で社会に貢献する。又理想でしょうが、真善美を空手道の真髄として探求する事によって人に感動を与える指導が出来るのではないかと思います。

「人格が完成した時に死は訪れる」と言う箴言が正しければ、我欲を捨て切れぬ、我々凡人はまだまだ、そう簡単に死は訪れませぬ。

西欧スポーツではまず勝つことを意識し、そこまでいかなくても記録を意識する。そのため全身、全脳のホルモン系、無髄神経系、有髄神経系のすべてをフルに動員し、成果を競う。もちろん前頭連合野は最大限に活動させられる。

このようなくすべてを動員する西欧スポーツは、頭の健康にももちろん有用である。しかしそれだけに、負けたときや、失敗したときに、ダメージがあり、また勝つために上位の脳を使いすぎる欠点もある。身体的鍛錬といっても、前頭連合野が活動しすぎるようでは本末転倒である。

これに対して東洋的修行（ヨガ、禅）では、なるべく下位の脳神経系と骨格筋系は動かさず、原始に戻るように、全身から全脳を整える。このような東洋的修行は、上位の進化した脳へ偏った脳の活動を是正し、下位の脳の活動を中心を整えるので、頭の健康にとって最善の方法といえるかもしれない。

この意味から、自然な技の動きである中国拳法稽古方法をも研究すべきと思います。(Yoshida Satoru)脳がここまでわかってきた分子生理学による「心の解剖」大木幸介より)

「自己の年齢、体調に即応した。基本、型、組手の稽古で関節や筋肉に蓄積した汚物を浄化させる事を目標にすれば、ヨガ且つ禅と同じ効用があり、その意味で空手道も大脳の活性化に大きな力があります。

### 死計……

一、心に喜神を持つこと二、感謝すること 一、陰徳をつむこと 正岡正篤「人物を修める」より  
老節に入りますと、ひとりで微笑する事は難しいが、ひとりで激憤する事や消極的思考且つ自分を卑下する傾向が顕著に現れます。体力が衰えると精神に影響し鬱の状態に陥ります。大きなたらいに入った水を箸一本で丹念に回していると、やがては全体が回り始めると言います。二十年偉大なり、三十年おそろるべし、四十年歴史なり

「持続は力なり」空手稽古は、身心の浄化法です。日々の稽古で喜びと感謝、奉仕の精神を潜在意識化にインプットすれば「喜神」の生活が送れます。

生涯学習、生涯護身術として目標を定め四十年、五十年毎日弛まず、身心の浄化を目標に真善美を目指し稽古していれば暗闇の先に、何らかの光明が差し込むのではないかと思います。

参考及び引用文献安岡正篤「人物を修める」大木幸介「脳がここまでわかってきた」藤原正彦「国家の品格」

### DVD絶賛発売中!

## 第10船越義珍杯 世界空手道選手権大会

THE 10TH FUNAKOSHI GICHIN CUP KARATE WORLD CHAMPIONSHIP TOURNAMENT

期日：2006年8月19・20日 会場：オーストラリア・シドニー

■商品番号 DCMP-985

■カラー 80分

■定価 8,000円(税込)

■収録内容 Kata Individual Male/Kata Individual Female/Kumite Individual Male/Kumite Individual Female/Kata Team Male/Kata Team Female/Kumite Team Male/Kumite Team Female



船越義珍翁正統正伝

■解説/ (社)日本空手協会 主席研範 中山正敏

## 松濤館十五の形

各 4,800円(税込) 収録時間 各30分 Vol.9/若袴(未完成)

- Vol.1 CMP-961(VHS)/DCMP-961(DVD) 平安(初～三段)
- Vol.2 CMP-962(VHS)/DCMP-962(DVD) 平安(四～五段)鉄騎(初段)
- Vol.3 CMP-963(VHS)/DCMP-963(DVD) 鉄騎(二～三段)
- Vol.4 CMP-964(VHS)/DCMP-964(DVD) 技空
- Vol.5 CMP-965(VHS)/DCMP-965(DVD) 親空
- Vol.6 CMP-966(VHS)/DCMP-966(DVD) 十手
- Vol.7 CMP-967(VHS)/DCMP-967(DVD) 半月
- Vol.8 CMP-968(VHS)/DCMP-968(DVD) 燕飛
- Vol.10 CMP-970(VHS)/DCMP-969(DVD) 慈恩

## 松濤館選定形

各 4,800円(税込) 収録時間 各25分

- Vol.1 CMP-971 杜銭
- Vol.2 CMP-972 雲手

待望のDVD化!





(社)日本空手協会

平成18年度

# 秋季関東学生会定期リーグ戦

日時：平成18年10月29日(日)

主催：日本空手協会関東学生会

会場：駒澤大学体育館

協力：(社)日本空手協会・OB連合会

## 男子個人戦

佐藤 龍治(駒澤大学1年生)

電光石火の蹴りでトーナメントを席捲!!

林 敬明(日本大学農獣医学部4年)

3部からの決勝進出は初の快挙!

86名の各校代表によって争われた男子個人戦、緒戦から激戦が繰り広げられた。駒澤大学・佐藤龍治、佐藤光直が1部団体戦優勝校代表らしい強さを緒戦から発揮、トーナメントを勝ち上がっていく。また、関東学院大・丹波秀和も準々決勝で大正大・武田祐馬との接戦を見事な上段逆突きで制し、準決勝に進出。しかし庄巻は日大農獣医学部・林敬明である。日大農獣医学部は現在3部リーグだが古豪の復活を感じさせる活躍を林が魅せた。的確に自分の間合いを取り引き込んでの上段への逆突き、また攻めでは中段逆突き、上段への逆突き逆突きとバランスの取れた組手を展開、堂々の準々決勝進出を果たし、駒大・佐藤光直と対戦。林は1-1から接戦を引き込んでの上段突きを極め、準決勝進出、準決勝でも国士館・堀井を下し、堂々の決勝進出を果たす。3部ながらの



長身からの鋭い突きけりで頂点に輝いた佐藤龍治(駒澤大学)



団体戦でも大躍進の国士館大の堀井皓太が三位入賞



3部からの決勝進出は初の快挙、林敬明(日本大学農獣医学部)が準優勝



団体戦でも大躍進の国士館大の堀井皓太が三位入賞

決勝進出は初めての快挙である。また、駒大・佐藤龍治と関東学院大・丹羽秀和は地力に勝る佐藤が2-0で勝利、決勝へ進出した。

決勝戦、駒大・佐藤龍治と日大農獣医・林敬明の間で行われた決勝戦、佐藤はスピード溢れる突き技で互いの技が交錯したところを上段逆突き、さらに一気に中段突きを極め、完勝。見事に優勝を極めた。佐藤は協会・少年大会から活躍し、御殿場西高・そして駒大へと進学、協会生え抜きの選手である。今後の活躍を期待したい。

## 女子個人戦

藤原菜希、貫祿の組手で堂々の優勝

総勢57名で争われた女子個人戦、優勝候補筆頭は大正大・藤原菜希である。各大会での活躍



余裕すら感じさせる組手で頂点に立った藤原菜希(大正大)



決勝戦でも藤原は積極的に仕掛け、駒大・遠藤の攻撃を引き込んでの左の上段突きを立って続けに極め、堂々の試合展開で優勝を決めた



藤原をヒヤッとさせたのが前年度秋大会準優勝の蜂須賀(駒澤大学)、三位に入賞した

は周知の通りである。格の違いを見せて危なげなく準決勝に進出、駒大・蜂須賀三佳と対戦した。駒大・蜂須賀は昨年のリーグ戦で個人戦にて準優勝するなど、思いつきりの良い組手をする好選手である。蜂須賀は序盤藤原の鋭い連続技を上段突きで出合いを狙うなど、藤原をヒヤッとさせる場面も、そして前蹴りからの順突きを極め技ありを先行した。しかし藤原は持ち前の勝負強さで、相手の上段突きを誘っての中段突き、そして鋭い連続技からの上段突きで合わせて一本、決勝へと進出した。決勝戦は大正大・藤原と駒大・遠藤由貴奈の間で争われた。藤原がサウスボー構えから相手を引き込んでの右の上段突きを立って続けに極め勝利、貫祿の組手で堂々の優勝を果たした。

## 男子1部リーグ戦

駒澤大学は学連の秋の関東団体戦で帝京大を5-0のストレート勝ちで怒涛の優勝を果たし、今一番勢いがある。他の1部校が駒澤大学

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

# 空手衣の YAMAGA

株式会社 山 雅

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町17-14 福川ビル  
TEL. 06-6768-2340(代) FAX. 06-6768-2351





防衛大学と千葉工大の入れ替え戦は激しい戦いとなった接戦を3-2で千葉工業大学が勝利、1部残留を決めた



青山学院2部優勝の原動力になった上田大介

無念の2部落ちをした青山学院大学が実力を遺憾なく発揮、4勝1敗（内容差で青山学院大学が勝利）で

## ◆男子2部リーグ戦

つた国士館大学は次鋒横山、中堅仁木、副将塚本が勝負強さを発揮、接戦を競り勝ち、駒大に土をつけた。駒澤大学は1敗したものの堂々の優勝、二位には小出兄弟を要する関東学院大学が、三位には国士館大学が入賞した。



チームを戦う姿勢、気合で引っ張った塚本一平（国士館大学）



安定した実力を発揮した志村龍己（駒澤大学）



近年の関東学院大躍進の立役者、小出修也

にどう挑むかが見ものである。駒大の全勝を阻んだのが国士館大学である。ここ数年リーグ戦で元気がな

◆女子1部リーグ  
新井彩可、藤原菜希を擁する大正大学、この2名が安定した実力を発揮、優勝に輝く。2位には近年女子の心境的しい国士館大学が、三位には若林理沙を擁する駒澤大学が入賞した。



3部リーグ戦の試合風景

## ◆男子3部リーグ

堂々の優勝、1部に昇格、準優勝には4勝1敗の防衛大学校が三位には3勝2敗の筑波大学医学部が入賞した。

15校で争われた3部リーグ戦、Aブロックを全勝で1位通過した亜細亜大学、3勝1敗の2位通過の国際医療福祉大学、Bブロックを3勝1敗で通過した昭和薬科大学、2勝2分けで2位通過した上智大学、Cブロックを全勝で1位通過した日本大学農獣医学部、3勝1敗で通過した自治医科大学の6校によって決勝トーナメントが争われた。  
決勝に進んだのは、昭和薬科大学を代表戦で降し、そして日大農獣医学部を接戦の末降した自治医科大学、そして国際医療福祉大学、亜細亜大学を降した上智大学によって争われた。自治医科大学は上智大学を4-0で破り、優勝、2部に昇格した。



女子2部の試合風景

◆女子2部リーグ戦  
12校が2ブロックに分かれて参加した女子2部リーグ戦、決勝トーナメントに進出したのはAブロックを全勝で通過した日本大学農獣医学部、4勝1敗で2位通過した東京経済大学、Bブロックを全勝で1位通過した亜細亜大学、4勝1敗で2位通過した上智大学の4校で決勝トーナメントに進出した。決勝に進出したのは亜細亜大学と日本大学農獣医学部接戦を2-1で日本大学農獣医学部が制し優勝、1部に昇格した。準優勝に亜細亜大学、三位には上智大学との3位決定戦を制した東京経済大学が入賞した。

## ◆女子2部リーグ戦



駒大・遠藤と大正大・藤原の対戦は2-1で藤原の勝利。大正大学は中堅新井、大将藤原が2勝、駒澤大学若林は一人気を吐くも2-1で大正大学が勝利した。大正大学は国士館大学にも勝利、全勝で優勝した



駒澤大学と国士館大学の対戦は国士館先鋒磯田、大将鈴木が勝利、駒大は中堅若林が勝利するも2-1で国士館の勝利となり、国士館の準優勝が決定した

# 形態安定空手衣 NST

軽くて縮まない空手着"NST"。一流選手をサポートするブランドです。



インターネットで気軽にEメールでご注文を!!

[www.toukaido.co.jp](http://www.toukaido.co.jp)

Eメールアドレス [toukaido@par.odn.ne.jp](mailto:toukaido@par.odn.ne.jp)

お申し込み・お問い合わせ

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-12-14 麹町 KYビル6F

TEL / 03-3262-0281 (代表) FAX / 03-3234-9387

空手衣の **東海堂**



# 平成十八年度秋季 関東学生会定期リーグ戦

日 時：平成18年10月29日午前10時開始  
主 催：社団法人日本空手協会関東学生会

場 所：駒澤大学 体育館  
協 力：社団法人日本空手協会OB連合会

参加校数：27校（男子）、18校（女子）

## 男子団体戦

### 一部リーグ

優 勝 駒澤大学  
準優勝 関東学院大学  
三 位 國土館大学

### 二部リーグ

優 勝 青山学院大学  
準優勝 防衛大学校  
三 位 筑波大学医学部

### 三部リーグ

優 勝 自治医科大学  
準優勝 国際医療福祉大学  
三 位 日本大学農獣医学部

## 女子団体戦

### 一部リーグ

優 勝 大正大学  
準優勝 國土館大学  
三 位 駒澤大学

## 二部リーグ

優 勝 日本大学農獣医学部  
準優勝 亜細亜大学  
三 位 東京経済大学

## 男子個人戦

優 勝 佐藤 龍治（駒澤大学）  
準優勝 林 敬明（日大農獣医）

三 位 丹波 秀和（関東学院大学）  
三 位 堀井 皓太（國土館大学）

## 女子個人戦

優 勝 藤原 菜希（大正大学）  
準優勝 遠藤 由貴奈（駒澤大学）  
三 位 高野 恵子（大正大学）  
三 位 蜂須賀 三佳（駒澤大学）

## 優秀選手

### 男子

志村 龍己（駒澤大学）  
横山 大（大正大学）  
小出 修也（関東学院大学）

### 女子

若林 梨沙（駒澤大学）  
新井 彩可（大正大学）  
磯田 詩麻（國土館大学）

## 昇格

男子1部昇格 青山学院大学  
男子2部昇格 自治医科大学  
女子1部昇格 日本大学農獣医学部

# 第10回船越義珍杯世界空手道選手権大会 日本代表選手団総合優勝祝勝会



激戦を戦い抜いた日本代表選手団、そして小倉靖典監督、泉屋誠三コーチ。監督から大会の報告が行われた。



当日は多数参加いただきました。ありがとうございました。



首席師範・杉浦初久二先生の挨拶

中原伸之会長の挨拶

去る平成18年11月18日（土）東京飯田橋・ホテルエドモントにて第10回船越義珍杯世界空手道選手権大会日本代表選手団総合優勝祝勝会が開催されました。世界大会は少年大会が8月17日、一般大会が8月19日、20日オールラリア・シドニー市にて開催され、日本選手団は怒涛の快進撃、総合優勝に輝きました。少年部代表日本選

手団の活躍が一般大会での活躍に繋がったことは言うまでもありません。大会を陰で支えていただいた、役員、審判の先生方、そして監督、コーチ、日本代表選手団の皆様お疲れ様でした。また、祝勝会に出席いただきました皆様、ご多忙中にもかかわらずお越しいただき誠にありがとうございました。



平成十八年度

## 「三重県巡回指導講習会」実施

十一月二十三日、総本部指導員の小倉先生・今村先生をお迎えして兵庫副会長参画のもと「平成十八年度 三重県巡回指導講習会」を国立三重大学体育館において開催致しました。

三重県各支部の指導者及び会員総勢百四十七名の参加をいただき、午前の部は両指導員により一般・少年部合同で「基本」の技術指導が行われ、軸足・腰の回転・後ろ足の張り等々を子供たちにもわかりやすく指導していただきました。午後の部は少年の部を小倉先



生、高校・一般の部を今村先生にわかれての「形」「組手」の技術指導となりました。

一般の部は「半月」「岩鶴」の指導から始まり後半は組手の技術指導となりました。

受講者より出される質問に対し、今村先生が丁寧の説明してくださる姿が印象的でした。

少年の部は「抜塞大」「観空大」の指導から始まりましたが小倉先生の子供たちと同じ目線になっての指導は感銘を受けると共に普段の指導方法を考えさせられるところでありました。

一日だけの講習会ではありませんが総本部の先生方に熱意ある親切な技術指導をいただき、三重県本部指導員及び会員一同大変勉強になりました。

参加者一同に成り代りお礼を申し上げますとともに、三重県本部一同、空手道を通じて青少年の育成及び武道としての技術伝承に精進して指導に当たる所存です。

(記事 伊藤裕之)

## 神奈川県下の伝統校にて

### 逗子支部・松井支部長が講演

去る9月29日に、神奈川県逗子支部・松井秀人支部長が私立男子校として神奈川県で最も古い伝統を持つ、逗子開成中学・高等学校の学校長以下全教員(100人)を対象に講演をされました。

これは、当校の小講堂に当たるサイエンスホールの完成記念として行われたものです。その機縁としては、逗子支部が当校の剣道場を8年間使用していること。松井支部長が生徒対象の空手道の「土曜講座」を指導していることを通じて懇意になつた事務長(常任理事)が、支部長の人柄や考え方に共感するなどといった、学校側と強い信頼関係にあることによります。

ちなみに、逗子開成は昭和初期に剣道では高野佐三郎、柔道では三船久蔵が同時に師範をされていたという、文武両道の私立学校です。

演題は、「企業における人材育成と人間教育」。銀行をはじめ多くの企業の中で指導的立場をされていた松井支部長の講話は、教育の現場に携わる逗子開成の教職員一同にとり、人間教育の原点を考える上で示唆に富むものでした。特に、自主自律の



精神を養うという話は、企業人としてのみならず、長年の空手道の稽古を積まれてこられたことに裏打ちされたものです。

空手道修業が、厳しい人生の中で生き抜いていくことの支えになるといふことは、長年修業された方々には明らかかなことと思えます。そのことを具現化されたことを評価されて今回の講演会となりましたことは、松井支部長の指導のもと稽古に励む逗子支部会員にとり、大きな誇りでありました。

(文：逗子支部員 逗子開成中学・高等学校教諭 岩佐直樹)

### 松井秀人氏

プロフィール

英国留学中に 現日本空手協会英国主席師範 櫻枝慶之輔先生及び川副先生に師事。  
現日本空手協会神奈川県本部理事、逗子支部支部長、横浜市立大学空手道部OB会(浜空会)会長 日本空手協会6段、逗子市在住。



# 平成18年度 (社)日本空手協会総本部 稽古納め・納会

去る平成18年12月22日、(社)日本空手協会総本部にて稽古納め・納会が行われた。当日には各地から大勢の会員が集まり、首席師範杉浦初久二先生の指導の下、熱心に汗を流した。



首席師範杉浦初久二先生の下、納め稽古が指導された



大勢の会員が総本部に集結、熱心に汗を流した



少年部も稽古納めに参加した



会員と汗を流す世界王者、尾方指導員



納会に参加いただいた皆様、ありがとうございました。



来年は更なる飛躍を！と中原伸之会長



# 大会熱戦録

(開催順)

<b>小学生低学年 形の部</b> (1)位 松本優佳(松江) (2)位 千原由理奈(阿新正田) (3)位 永瀬七海(松江) [敢闘賞] 石田祐介(鳥取) 難波ミコ(広島) 赤追慶貴(岡山) 若狭将太郎(金光)	<b>小学生高学年 形の部</b> (1)位 福島孝奈(林原) (2)位 小砂伶菜(松江) (3)位 富部理奈(阿新正田) [敢闘賞] 山口治絵(大元) 小河口樹(阿新千屋) 難波るい(広島) 白井ひろ美(林原) 芥川昇司(玉島北)	<b>中学生低学年 形の部</b> (1)位 伴 佳喜(真備) (2)位 須増 匠(真備) (3)位 塚中将成(岡山) [敢闘賞] 小田絵里香(岡山) 谷口元哉(鳥取) 須増遼哉(真備) 片岡佑介(津山) 芥川一成(玉島北)	<b>中学生高学年 形の部</b> (1)位 山本啓造(林原) (2)位 石浦那彦(心空会) (3)位 支馬直徒(真備) [敢闘賞] 小田絵里香(岡山) 谷口元哉(鳥取) 須増遼哉(真備) 片岡佑介(津山) 芥川一成(玉島北)	<b>小学生低学年 組手の部</b> 千原由理奈(阿新正田) 松本優佳(松江)	<b>小学生高学年 組手の部</b> 福島孝奈(林原) 木村優希(邑久) 戸田海人(真庭) 香西友太(船島) 高森都生(真備) 尾野成太(津山)	<b>中学生低学年 組手の部</b> 伴 佳喜(真備) 須増 匠(真備) 塚中将成(岡山)	<b>中学生高学年 組手の部</b> 山本啓造(林原) 石浦那彦(心空会) 支馬直徒(真備)	<b>小学生低学年 男子組手の部</b> 玄馬直徒(真備) 米井治貴(津山東) 富部翔太(阿新正田) 山本啓造(林原) 難波貴弘(真庭) 城本裕紀(河原)	<b>小学生高学年 男子組手の部</b> 石井隼斗(六条院) 桐谷真吾(林原)	<b>小学生低学年 女子組手の部</b> 佐藤夕文(邑久)	<b>小学生高学年 女子組手の部</b> 難波寧々(広島) 村上志遠(鳥取) 安藤結捺(勝間田) 小河理沙(阿新正田) 横山明里(阿新千屋) 森長 泉(大元) 山河 芳(玉島北)	<b>中学生低学年 組手の部</b> 池田歩美(松江) 景山日向子(岡山) 樋野小波(松江) 黒岩加奈(真庭)	<b>中学生高学年 組手の部</b> 吉原寛聡(岡山) 鈴木倫央(六条院) 真野良介(林原) 塚中将成(岡山)	<b>高校生男子 組手の部</b> 板持 光(林原) 松本浩介(松江) 堀 卓博(船島) 濱木大樹(鳥取)	<b>高校生女子 組手の部</b> 富加見洋(広島) 西川昌幸(岡山) 石澤嘉将(岡山) 石田祐介(鳥取) 有元優夜(真庭) 横道祐紀(六条院)	<b>小学生中学生 組手の部</b> 小砂伶菜(松江)
--	--	--	---	---	--	--	---	---	---	----------------------------------	--	---	---	---	--	--------------------------------

## 昇段審査合格者 \*3段以上

<b>6段</b>			
DAVID PYKE (カナダ)	MARK TARRANT (アメリカ)	CANOY MICHAEL (オーストリア)	
DENIS HOUDE (カナダ)	MARTIN VAUGHAN (アメリカ)	KOERNER HANS (ドイツ)	
SARA GRIMES (アメリカ)	REPP RONALD (ドイツ)	QUERL ERWIN (ドイツ)	
ANTHONY NAKAZAWA (アメリカ)	HECKING ROLF (ドイツ)	RATNA ANAND (インド)	
PEDORO MARC CORDICE (アメリカ)	STRNAD KAREL (チェコ)		
<b>5段</b>			
吉武和博 (九州地区)	ロクカルゲ・スニル・サンタ (近畿)	石丸利文 (東海)	
威平展宏 (九州地区)	GERISDH BERND (ドイツ)	JOHN HAZEL (スコットランド)	
山口高史 (九州地区)	RUH DIETER (ドイツ)	NYKJAER JUDY (デンマーク)	
畔元慶明 (九州地区)	KRIEGER-MEYER ERIKA (ドイツ)	WEWENKANG RAMON (オランダ)	
中西昭仁 (近畿)	紅林健吾 (東海)		
<b>4段</b>			
福島大士 (近畿)	佐野清人 (東海)	中山岳男 (本部)	福島憲仁 (三重)
殿界秀樹 (近畿)	岡野泰洋 (東海)	境 美里 (福岡)	南 英雄 (三重)
岡田和浩 (東海)	宮田叔彦 (東海)	富永正宣 (福岡)	竹中拓也 (富山)
<b>3段</b>			
武良英明 (北海道)	渡邊保男 (神奈川)	伊波 武 (総本部)	森高健太郎 (福岡)
藤井悠詞 (北海道)	甲斐田匡彦 (愛知)	紙谷 一 (北海道)	後藤愛沙 (福岡)
岡本拓也 (北海道)	菊地貞一 (東北地区)	大川一成 (福岡)	寺田竜彦 (茨城)
成島 操 (神奈川)	瀬戸長一郎 (岐阜)	上山恭徳 (福岡)	早川陽栄 (茨城)
			下平和正 (長野)
			平松基弘 (三重)
			足立博史 (三重)
			笠井 健 (三重)

### <投稿歓迎>

全国の会員の皆様の投稿をお待ちしています。支部・道場の行事の様態などの「原稿・写真」をお気軽にお寄せください。投稿原稿は800字以内。ワープロ・パソコン(FD)、原稿用紙でお願いします。なお投稿いただいた原稿等は原則として返却いたしませんのでご注意ください。ホームページ、電子メールもご利用ください。詳細はお問い合わせください。

●宛先 〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15 日本空手協会総本部「JKAニュース」係  
TEL.03-5800-3091(担当・大隈)

●ホームページ <http://www.jka.or.jp> ●電子メール [sohonbu@jka.or.jp](mailto:sohonbu@jka.or.jp)

※JKA NEWSをホームページからPDFでも閲覧できます。

### <各地区編集委員>

北海道地区	網谷貞幸	TEL/FAX 011-832-1182
東北地区	佐藤範明	TEL/FAX 022-285-3209
関東地区	瀬戸謙介	TEL 03-3714-6469 FAX 03-3714-4093
北信越地区	大日方俊夫	TEL 026-244-2659 026-234-5964 FAX 026-244-4170
東海地区	池山正仁	TEL 052-351-7300 FAX 052-355-3557
近畿地区	小島弘己	TEL/FAX 0720-75-0295
九州地区	鶴田敏昭	TEL 092-661-0500 FAX 092-661-0504

<次号「2007年28号」は7月発行の予定です>

# 協会の型を完全網羅!

## 空手道型教本 絶賛発売中

第1巻 平安初段・式段・参段・四段・五段、鉄騎初段	2000円(税込)
第2巻 抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛	3000円(税込)
第3巻 岩鶴、十手、半月、鉄騎式段・参段	3000円(税込)
第4巻 抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手	3000円(税込)
第5巻 王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手	3000円(税込)

発行●日本空手協会・師範会 03(5800)3091

### (社)日本空手協会指定 審判用スラックス



ツータック ポリエステル100%  
ウエスト73~88cm  
¥7100(税込)  
ウエスト91~110cm  
¥7400(税込)

(サイズは3cm刻み、裾上げはご自身でお願いします)

送料(1~9本) ¥800  
10本以上無料

問い合わせ先 (株)東海堂 03-3262-0281